

もりやま 市議会だより



市民懇談会

これからの地域との関わり方を考える
～10年後も暮らしやすい守山であるために～



Contents

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| ● 議長・副議長の就任 2 | ● 市議会だより研修会 9 |
| ● 委員会・会派の構成 2 | ● 決算特別委員会報告 10～11 |
| ● 9月定例会議の概要 3 | ● 市政を問う 個人質問 12～18 |
| ● 常任委員会報告 4～6 | ● 審議結果一覧 19 |
| ● 特別委員会報告 7～9 | ● 議会活動報告・次回会議等開催予定 19 |

高田 正司 議長



市議：7期目
会派：守政会
議長、副議長、議会運営委員会委員長、総務常任委員会委員長、環境施設対策特別委員会委員長などを歴任。
古高町

福井 寿美子 副議長



市議：3期目
会派：ネットワーク未来
副議長、子育て支援対策特別委員会委員長、議会運営委員会副委員長、環境生活都市経済常任委員会副委員長などを歴任。
守山二丁目

議長就任挨拶

守山市議会議員 高田 正司

令和8年9月定例会会議におきまして、議員各位のご推挙により第54代議長に就任いたしました。身に余る光栄であると共に、これまで私にご指導、ご鞭撻を賜りました皆様方に感謝申し上げます。守山市では増加し続けてきた人口の伸びが鈍化し、将来的には人口減少が避けられないこと、更に急速に変化する社会情勢や複合化・複雑化する課題に対応し、10年後に向けた将来都市像、「私の願いがかなうまち」の実現、守山の将来を見据えた大規模プロジェクトや、市民に寄り添ったきめ細かな施策を推進していく必要があります。議会としても山積する課題解決に果敢に取り組み、将来を見据えた健全な財政運営など、行政の監視をはじめ、しっかりと議会が機能するよう尽力してまいり所存であります。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

委員会・会派の構成(10月2日～)

常任委員会等

総務常任委員会

○総合政策部、総務部、会計管理者、議会、選挙管理・監査・公平委員会所管に関する事

(委員長) 新野富美夫
(副委員長) 藤原浩美
(委員) 藤木 猛、小牧一美、田中尚仁、川本航平、北野裕也、上田佐和、榎本花菜恵

文教福祉常任委員会

○健康福祉部、こども家庭部、福祉事務所、市民病院、教育委員会所管に関する事

(委員長) 森 貴尉
(副委員長) 松永恵美子
(委員) 高田正司、田中 均、川本佳子、二上勝友、上田佐和、榎本花菜恵

環境生活都市経済常任委員会

○環境生活部、建設部、都市経済部、上下水道事業所、農業委員会所管に関する事

(委員長) 筈井昌彦
(副委員長) 田中 均
(委員) 渡邊邦男、福井寿美子、藤原浩美、松永恵美子、川本佳子、二上勝友、北野裕也

議会運営委員会

○議会運営に関する事

(委員長) 田中尚仁
(副委員長) 新野富美夫
(委員) 小牧一美、松永恵美子、榎本花菜恵

特別委員会

子育て支援対策特別委員会

○待機児童対策、こどもの居場所づくり等に関する事

(委員長) 小牧一美
(副委員長) 榎本花菜恵
(委員) 森 貴尉、二上勝友、上田佐和

まちづくり対策特別委員会

○守山駅東口、西口、駅周辺等のまちづくりに関する事

(委員長) 川本航平
(副委員長) 新野富美夫
(委員) 筈井昌彦、渡邊邦男、福井寿美子、藤原浩美

議会改革・広報広聴特別委員会

○市民に開かれた議会の推進等に関する事

(委員長) 藤木 猛
(副委員長) 北野裕也
(委員) 高田正司、田中尚仁、田中 均、松永恵美子、川本佳子

組合議会

湖南広域行政組合議会

(組合議員) 藤木 猛、森 貴尉、新野富美夫、田中尚仁

守山野洲行政事務組合議会

(組合議員) 川本航平、松永恵美子、上田佐和

その他の委員会

市議会だより編集委員会

○市議会だよりの編集に関する事

(委員長) 川本航平
(副委員長) 川本佳子
(委員) 田中 均、松永恵美子、上田佐和、榎本花菜恵

会派の状況

守政会(7人)

会長 森 貴尉
副会長 筈井昌彦
幹事長 渡邊邦男
政調会長 田中尚仁
会計 松永恵美子
議員 高田正司
議員 新野富美夫

日本共産党議員団(3人)

会長 小牧一美
幹事長 藤原浩美
会計 川本佳子

ネットワーク未来(2人)

会長・会計 福井寿美子
副会長 榎本花菜恵

無所属(公明党) 田中 均

無所属 藤木 猛

無所属 川本航平

無所属 上田佐和

無所属 二上勝友

無所属 北野裕也

※会派は2名以上で結成。

※無所属議員で政党に所属する議員は、政党名を名乗ることもできる。



定例会議報告

9月
定例会議

決算案件 9 件、予算案件 4 件、条例案件 4 件、
人事案件 3 件、諮問案件 1 件、意見書 2 件の
計23件を可決等しました。
主な議案の概要は、次のとおりです。

可決

一般会計補正予算 総額 7 億1,294万円

主な補正概要

- 認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助金 **3,326万円**
市内民間介護施設のキュービクル等の更新に係る整備費に対する補助金
- 物部・吉身児童クラブの拡充等 **1,454万円**
受入可能児童数の不足が見込まれる物部・吉身児童クラブの拡充(増設)に係る整備費
- 児童クラブ照明設備LED化事業 **1,800万円**
市内 6 児童クラブの照明設備をLED化するための改修費
- 都市基盤の整備に係る費用の補正
 - ・ 市道舗装修繕および改良費、交通安全施設整備費の増額 **9,750万円**
 - ・ 河川管理、改良費の増額 **5,000万円**
 - ・ 都市計画街路(大門野尻線)整備費の増額 **2 億5,692万円**
- ワールドマスターズゲームズ2027関西・守山市実行委員会負担金 **173万円**
令和 9 年 5 月に開催されるワールドマスターズゲームズ2027関西の開催に向けた負担金

主な物価高騰対策事業

- 食材物価高騰対策に係る支援 **2,088万円**
市社会福祉協議会を通じた生活困窮者への食糧支援や、食材の価格高騰の影響を受けている障害福祉サービス事業所、介護サービス事業所への支援
- 農業者等への物価高騰対策に係る支援 **3,200万円**

可決

守山市使用料および手数料条例の一部を改正する条例案

小学生の放課後の居場所

- 使用料
児童 1 人につき月額1,500円(8月は月額6,500円)
- 使用料の減免
 - ・ 生活保護受給世帯・市民税非課税世帯は使用料を免除
 - ・ 児童がけがや病気でその月の全日にわたって利用しなかったときは当該月分の使用料を免除
 - ・ ひとり親家庭は、児童1人につき、月額400円(8月は月額1,700円)を減額

総務常任委員会

委員会協議会

第4期守山市スポーツ推進計画の骨子(案)について

令和9年度から第4期となる守山市スポーツ推進計画を策定するにあたって、現在の取り組み内容や計画策定のスケジュール等について説明を受け、議論しました。

計画の骨子(案)

基本理念 誰もが、どこでも、いつまでも！動かすカラダ、つづく健康！

～スポーツで育む、ウェルビーイング守山～

基本方針 運動やスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」

する 市民の運動・スポーツの実施率向上

みる 市内外で開催される運動・スポーツの大会等を市民が体感できる機会創出

ささえる 市民や企業・各種関係団体との連携を通して、運動・スポーツをささえる風土の醸成

※令和9年1月に計画案に対するパブリックコメントが実施される予定です。

議員からの意見 ・ウェルビーイングという言葉は抽象的であり、わかりやすい言葉に変更すべき。
・こどもの外遊びをさらに推進するような計画としてほしい。

市広報のあり方の検討状況について

広報誌の配布方法や発行回数に関する課題に加えて、急速なデジタル化の進展を踏まえた市民にとって最適かつ効果的な広報のあり方について、検討状況の報告を受けました。

課 題

- ・全国的な新聞購読率の低下
- ・デジタルへの移行の過渡期
- ・発行回数の多さに伴う印刷・折り込みコスト
- ・発信媒体ごとの役割・使い分けが不明確
- ・「誰に・何を・どの媒体で」という発信設計が不十分
- ・市民のデジタルでの情報取得ニーズの向上



今後の取り組み

- ・広報のあり方に係る市民アンケート（11月に実施予定）
- ・映像を活用した情報発信
- ・広報基本方針の作成

議員からの意見 ・市民アンケートについては、幅広い世代や立場の市民から意見を聴取できるように実施方法や周知方法を工夫してほしい。

こどもの居場所づくり事業に係る費用の補正 1,630万円

令和9年度から玉津小学校、中洲小学校の学校施設を活用した新たなこどもの放課後の居場所を開設するために必要な環境整備やテスト開設(令和9年1月～2月に実施予定)を実施する。

議員からの 意見

- ・一時的な対応に終始するのではなく、将来を見据えて、安心して子育てができる環境づくりを求める。

委員会協議会

第10期守山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子(案)について

2040年問題を見据えた総合的かつ効果的な高齢者施策の推進に係る計画の骨子(案)について説明を受け、議論しました。

基本理念 みんなでつくる、生涯いきいきと暮らせるまち 守山

- 基本目標**
- ・健康寿命の延伸と元気力アップへの“いきいき”活動の推進
 - ・みんなで支え合う地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの深化・推進
 - ・高齢者と家族を支える介護体制の充実

議員からの 意見

- ・認知症高齢者への支援は、介護だけで支えるのではなく、医療の視点も取り入れた支援体制を構築することで、本人や家族、介護者の負担軽減につなげてほしい。

地域包括支援センターの次期委託に係る運営方針について

各圏域の地域包括支援センターの現委託契約が令和10年3月で終期を迎えるため、次期委託に向けた運営方針について説明を受け、議論しました。

運営方針 ・設置個所数、担当学区、設置場所

南部、中部、北部の3圏域と定め、担当学区、設置場所も現契約と同様とする。

・委託期間

4年間であった委託期間は、介護保険法、高齢者福祉計画の改正・改定の2サイクルとなる6年間とする。また、契約の中間年度には業務内容の見直しを行う。

・職員体制

専門職6名(認知症地域支援推進員を含む)、事務員1名の計7名の職員体制とする。なお、人口推計により高齢者人口の増加が見込まれるため、必要に応じて人員体制の見直しを行う。

議員からの 意見

- ・相談支援の現場で培われたノウハウや対応事例等を踏まえ、現場の声を今後の福祉施策や支援体制の充実につなげてほしい。
- ・認知症カフェは駐車場の不足を理由に参加を断るケースもあると聞くが、参加者ニーズに応えるため、駐車場の確保に向けた支援を求める。

環境生活都市経済常任委員会

指定ごみ袋追加購入および委託販売費用の補正 946万円

中東情勢等の影響による指定焼却ごみ袋の品薄状況に対応するため、市販のごみ袋でもごみ捨てができる臨時措置を実施した。終了後の安定供給に向け、65万枚を追加発注する。

委員会協議会

環境センターへのコンクリート製品の一部受入れ開始について

近年、市民から処分等に関する問い合わせが増加しているコンクリート製品の一部受入れについて説明を受け、議論しました。

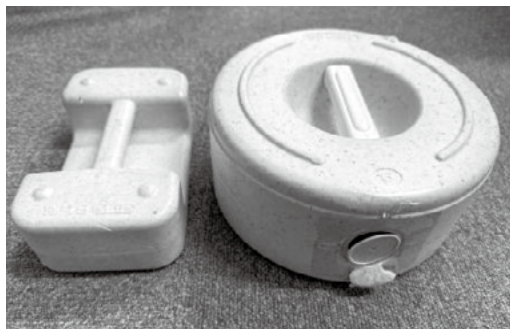
受入方法 事前申請による自己搬入のみ(年間で1世帯1回、10個まで)

搬入手数料 10kgまでごとに140円(自己搬入手数料と同額)

受入開始予定 令和9年4月

受入品目

コンクリート製の漬物石



コンクリート製の物干し台



議員からの意見

・マイカー(乗用車)での搬入だと一度に10個も運ぶことは難しいので、数回に分けての搬入でも受入れられるよう検討を求める。

立入水源地耐震化等に係る整備の進捗状況について

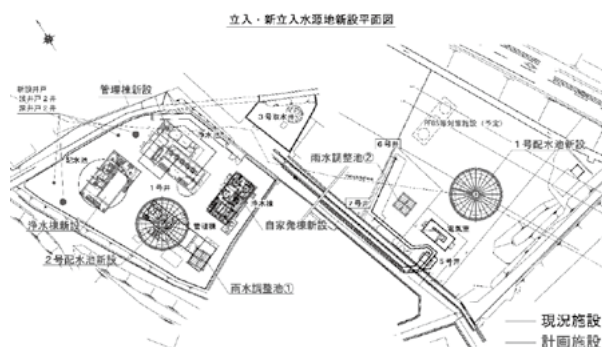
令和4年度の耐震診断にて、配水池、浄水棟の一部に耐震性が確保されていないことが判明した立入水源地の整備の進捗状況について説明を受け、議論しました。

基本設計の概要

- ・井戸の本数 浅井戸^{せい}2井と深井戸^{せい}2井を新設
- ・配水池の容量等 2,900m³の配水池2池を、立入水源地と新立入水源地に新設
- ・施設の配置 浄水棟・管理棟を立入水源地にまとめて設置し、非常用自家発電施設を新設

概算工事費 約50億円

工事工程 令和10年4月から令和14年9月まで
(4年5か月間)の予定



子育て支援対策特別委員会

こども家庭センターの取組状況等について

こども家庭センターでの複雑、多様化する子育ての課題解決に向けた支援や取り組みについて説明を受け、議論しました。

母子保健分野の取組状況

母子健康手帳交付時のネウボラ面接や妊娠8ヶ月アンケート、新生児訪問など、伴走型の相談支援を通して、育児不安等に寄り添い、安心して子育てできるよう支援し、必要に応じて産後ケア事業等に繋げている。

児童福祉分野の取組状況

家庭支援事業のこんにちは赤ちゃん訪問では、生後6か月児宅を全戸訪問する中、子育てに関する不安や悩みを聴取し、必要に応じて子育て短期支援事業(ショートステイ)や子育て世帯訪問支援事業、こどもの居場所・学習支援事業に繋げている。

課題

こども家庭センターの機能強化

相談件数の増加や相談内容の複雑化に対応できる体制の強化

支援サービスの拡充

複合的な課題を抱えるケースに対するニーズの的確な把握と、そのニーズに対応可能な新たなサービスの検討、既存サービスの見直し

児童虐待予防を目指した周知啓発等

ヤングケアラーなど支援を必要とするこどもや家庭への対応と、市民への虐待予防の普及啓発の推進

今後の取組

こどもの居場所の確保

ひとり親家庭、経済的困窮の家庭等のこどもや、不登校等で居場所を必要としているこどもが安心できる場所、学習できる場所、人とつながれる場所を確保する。こどもの孤立を予防し、自己肯定感や社会性を育む取組を推進する。

0歳から大学生世代までが利用できる市内の「こどもの居場所」を一覧にまとめて広く発信する。

ヤングケアラーの早期発見・早期支援

ヤングケアラーに対する周知啓発を図り、早期支援に繋げる。

議員からの意見

- ・潜在的に困難を抱えるこどもにも支援が届くよう、こどもの居場所・学習支援事業のさらなる拡充を求める。
- ・こどもの居場所を一覧化する際には、特定の対象者を対象とした居場所と、誰もが利用できる居場所の双方を整理する必要がある。





特別委員会報告

まちづくり対策特別委員会

守山駅東口再整備事業の取組について

これまでの検討状況について説明・報告を受け、議論しました。

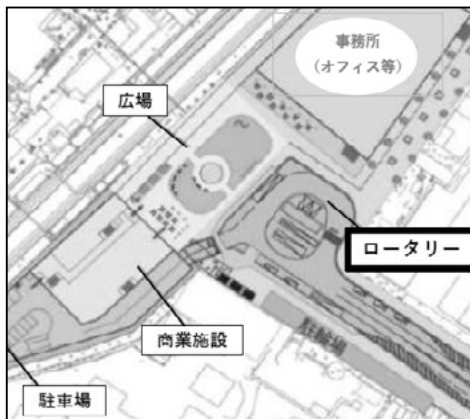
ロータリー等の詳細検討結果

ロータリー等の個別検討結果や専門家からの意見を基に、新たな図案を作成した。

交通シミュレーションを行った結果、広場中心案と比較して新たな図案では、車両の滞留が減ることが確認できた。

前回の「広場中心案」から「新たな図案」への主な変更点

- 駐車場出入口の位置をロータリー外に変更
- 停車スペースの面積を拡大
- 一方通行道路や4車線道路は維持する



〈前回の広場中心案〉



〈今回の新たな図案〉

議員からの意見

- これまでの議論も踏まえて、車両の動線がスムーズになる案である。
- 地下道の出入口はロータリー中央の交通島以外への配置を検討するべき。
- 安全確保のため、車道空間と歩道空間は適切に分離するべき。
- 一方通行道路を横断する歩行者の動線を適切に確保することが重要である。
- これまでと同様に大型バスが停車できるかどうかを懸念する。

建物プランの検討

事業エリア全体を商業地域とした上で、ホテル、マンション、駐車場を独立して配置し、商業施設はホテルおよびマンションの低層部に導入する2つのモデルパターン(例)を作成した。

当委員会が出た様々な意見も踏まえて、今後は民間事業者との具体的かつ専門的な意見交換を進める。

議員からの意見

- 歩行者の動線など、安全安心な駅前を考えていく必要がある。
- 守山駅東口はホテルと企業誘致が優先で、駅前広場や商業施設などの賑わい創出は最小限にするべき。
- ホテルにはバンケット機能(宴会やイベントを行うための機能)を組み込むことを条件にすべき。
- 駅前広場は、立体で確保すると使い勝手が悪くなるように感じるため、平面空間で確保すべき。

議会改革・広報広聴特別委員会

もりやま未来ミーティングの開催について

当委員会では、市民の声を議会活動に生かすため、広聴活動に取り組んでいます。

今年度は、「もりやま未来ミーティング」に議員がオブザーバー参加し、1つのテーマを市民と一緒に対話します。

【日 時】 令和9年1月16日(土)午前9時30分から

【場 所】 守山市役所2階 防災会議室

【テーマ】 あなたとみんなでつくる「守山のこれから」
～10年後の「わたしの『想い』」がかなうまち
について、ちょっと話してみませんか～

もりやま未来ミーティングとは

本市の未来を担う若い世代(19歳から39歳まで)の市民(無作為抽出)が、グループに分かれて、テーマに沿って話し合いを行います。



前回(R5.2.4)開催の様子

市議会だより研修会を開催

これからの市議会の情報発信について

市議会だよりの広報編集能力の向上を図るとともに、市民に伝わる議会広報のあり方や、紙媒体とデジタル媒体を効果的に活用した情報発信について学び、今後の市議会だよりの編集および議会広報の充実に向けて研修会を実施しました。

【開催日】：8月26日(水)

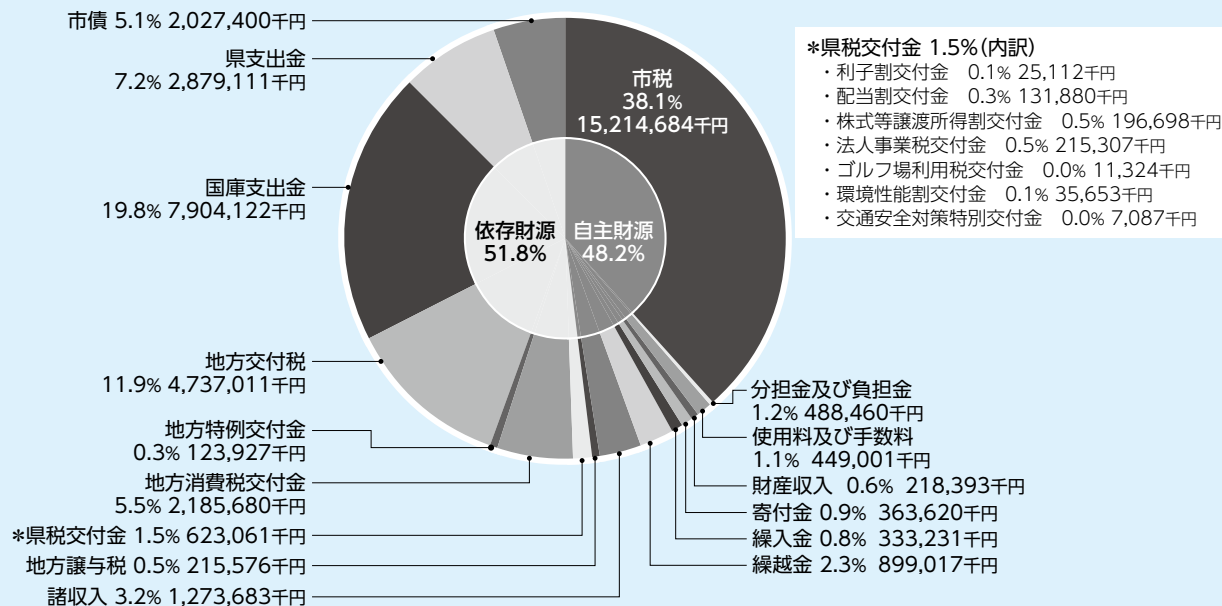
【講 師】：しがとせかい株式会社 代表取締役 中野 龍馬 氏



決算特別委員会

令和7年度の主要な事業について各部局から説明があり、委員は事業の成果、予算が適正かつ正確に使われたかどうかの質疑や意見を述べ、一般会計、特別会計等の決算を認定しました。

一般会計 〈歳入〉 総額 399億3,597万7千円



前年度と比較すると**18億7,318万円の増**となりました。

【主な増要因】

市税…個人市民税、固定資産税、法人市民税の増収

地方交付税…普通交付税、特別交付税の増加

国庫支出金…物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、児童手当負担金などの増加

県支出金…国スポーツ開催に係る運営交付金、国勢調査委託金などの増加

市債…普通建設事業の増加に伴う市債発行額の増加

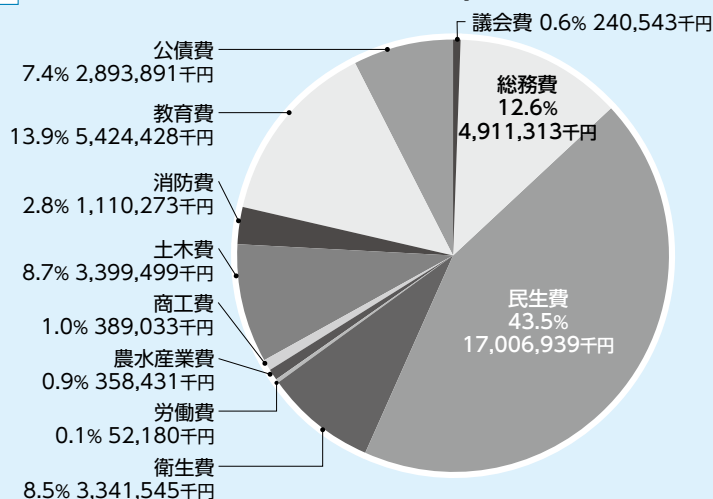
【主な減要因】

地方特定交付金…個人市民税の定額減税の終了による減収補填の終了

繰入金…財政調整基金や公共施設整備基金などの基金繰入金の減少

財産収入…大規模な土地売却の減少

一般会計 〈歳出〉 総額 391億2,807万5千円



前年度と比較すると**19億6,430万円の増**となりました。

目的別支出の増減と主な要因は次の通りです。

総務費 増加 国スポ・障スポ大会、国政選挙に係る経費の増額

民生費 増加 児童手当支給事業、障害福祉事業の利用者の増加、待機児童対策事業

衛生費 減少 福祉保健センター大規模改修事業の減少、新型コロナウイルスの5類感染症への移行による接種者数の減少

土木費 減少 立入公園整備事業の終了

消防費 減少 北消防署出張所建替整備事業の終了

教育費 増加 速野小学校の長寿命化改良事業、中学校体育館空調設備整備事業

主な一般会計歳入歳出決算の内訳

(単位：千円)

	R7	R6
歳入		
市税	15,214,684	13,810,357
地方交付税等	7,885,255	7,599,239
国県支出金	10,783,233	9,589,021
市債	2,027,400	1,751,900
繰入金	333,231	1,414,154
繰越金	899,017	803,657
その他収入	2,793,157	3,094,471
計	39,935,977	38,062,799

	R7	R6
歳出		
人件費	6,561,408	6,184,504
扶助費	11,500,663	11,037,037
公債費	2,882,801	2,805,429
物件費その他	6,135,770	5,806,301
補助費等	3,816,665	3,606,767
繰出金、その他	2,564,635	2,522,999
積立金	765,391	462,371
投資的経費	4,900,742	4,738,374
計	39,128,075	37,163,782

特別会計

(単位：千円)

	歳入額	前年度比	歳出額	前年度比
国民健康保険特別会計	6,740,108	100.9%	6,677,229	100.5%
土地取得特別会計	7,995	11.7%	2,995	4.7%
育英奨学事業特別会計	21,555	98.8%	19,170	103.5%
介護保険特別会計	6,201,557	103.0%	6,163,605	104.0%
(保険事業・サービス事業勘定)	14,635	52.5%	14,635	52.5%
後期高齢者医療事業特別会計	1,322,104	108.1%	1,320,759	108.2%
合 計	14,307,954	101.9%	14,198,393	102.2%

議員からの意見

総合政策部

- ・ふるさと納税は、返礼品に特産物を用意している自治体が強みを生かしている。守山でも守山にしかないもので人気のあるものなど、新たな製品の開発などに継続して取り組むべきである。
- ・空き家対策について、実態把握や所有者への啓発・指導にとどまらず、空き家の活用や賃貸、用途変更など、具体的な利活用につながる働きかけを積極的に進める必要がある。

総務部

- ・若年層の投票率を上げるには、投票体験が効果的と考える。実証実験の電子投票を活用するなど、認識を高められるように検討を進めてほしい。
- ・職員のテレワーク制度が利用しやすい環境になっているか検証し、場合によっては改善してほしい。

環境生活部

- ・浸水被害時には、太陽光パネルの冠水による感電リスクの可能性が示されている。防災対策の観点からも感電リスクについて周知啓発を求める。

健康福祉部

- ・老人クラブの会員数の減少を踏まえ、既存の組織にこだわらず、高齢者が地域でつながりを持ち、孤立を防ぐことができる多様な活動を支援してほしい。
- ・補聴器購入費助成について、購入後の使用状況や効果をしっかり検証し、今後の助成制度の改善につなげてほしい。

こども家庭部

- ・ひとり親家庭への公正証書作成支援は、費用面だけでなく、保証人の確保など制度利用の際に生じる課題にも着目し、実効性のある支援も検討するべきである。
- ・一時保護が必要な子どもや家庭を確実に支援できるよう、受入体制の整備や、支援を必要とする人が支援を受けられるよう、環境整備が必要である。

建設部

- ・地籍調査事業を着実に進めるため、専門的な知識や技術を次世代へ継承する人材育成にも取り組む必要がある。
- ・近年の地震発生状況を踏まえ、住宅の耐震化を促進するため、耐震診断の必要性を分かりやすく周知するとともに、申請につながるさらなる普及促進策を検討するべきである。

都市経済部

- ・官民連携による実証実験について、市内企業の参加実績がないことを踏まえ、地域課題の解決という目的を維持しつつ、市内企業が参画しやすいよう工夫できないか。
- ・シルバー人材センターで働く高齢者について、自己管理だけに委ねるのではなく、高齢者の特性にも配慮し、健康状態の把握や安全に働ける環境づくりを支援してほしい。

教育委員会事務局

- ・北部図書館について、夏場の室温や西日対策など、利用者が快適に過ごせる環境に配慮し、空調や日差しへの対策を工夫してほしい。

令和8年 守山市議会
9月定例会会議 質疑・質問一覧

市政を問う

令和8年
9月16日、17日

個人質問

個人質問の順番は、発言通告書が提出された順番です。【 】内は、答弁者です。

質問順番 (掲載頁)	質問者	質問事項
1 (P13)	新野 富美夫 【一問一答方式】	1 「市長の1期目4年間の総括と今後」について【市長】
2 (P13)	榎本 花菜恵 【分割方式】	1 市長一期目の総括と次の守山への継承について【市長】 2 動物施策の取組について【環境生活部長】
3 (P14)	森 貴尉 【分割方式】	1 災害に強いまちづくりと安全安心な道路整備等について【環境生活部理事・建設部長】 2 本市の青少年健全育成事業等に係る市民交流施設のあり方について【教育部長】
4 (P14)	田中 均 【分割方式】	1 湖岸観光開発用地の今後の活用について【市長・総合政策部長】 2 企業等との連携の取組状況について【市長・都市経済部長】
5 (P15)	川本 佳子 【一問一答方式】	1 誰もが安心して利用できる介護保険制度のための第10期介護保険事業計画の策定について【健康福祉部理事】 2 横江工業団地のリチウムイオン電池工場の周辺住民への影響について【市長】
6 (P15)	小牧 一美 【一問一答方式】	1 野洲川最上流で計画されている県内最大規模の産業廃棄物最終処分場について【市長】 2 子どもの権利条例制定と学校教育の充実について【市長・教育長】 3 放課後児童クラブの施設整備と拡充について【子ども家庭部長】 4 ハラスメント事案への対応について【総合政策部長・総務部長】
7 (P16)	松永 恵美子 【総括方式】	1 個別避難計画作成の仕組みの構築について【環境生活部理事】
8 (P16)	川本 航平 【一問一答方式】	1 生成AI活用の先にある、行政職員に求められる変化とは何か【市長】 2 生成AIを効果的に導入し、市役所全体に浸透させるための具体策は何か【市長】
9 (P17)	藤原 浩美 【分割方式】	1 熊本地震災害から得るべき教訓と守山市の防災対策について【市長・環境生活部理事】 2 健やかな生活のために健(検)診受診率の向上と保健指導の充実について【健康福祉部長】 3 実効性ある安定ヨウ素剤配布マニュアルの周知について【環境生活部理事】
10 (P17)	筈井 昌彦 【一問一答方式】	1 守山市の人口動態と財政状況について【市長】
11 (P18)	上田 佐和 【総括方式】	1 行政主導の「親子で集える場所」について【子ども家庭部長】
12 (P18)	北野 裕也 【一問一答方式】	1 守山市公立小中学校の完全米飯給食・米粉麺パンの使用について【市長】 2 守山市内学校における先生の公用携帯貸与について【市長】 3 自治会長アンケートからの自治会の担い手不足の実態について【市長】



「市長の1期目4年間の総括と今後」について問う



守政会
新野 富美夫（しんの ふみお）

問 産婦人科医院の誘致が進んでないが、支援制度の拡充や用地の支援として市有地の活用を考えてはどうか。

答 現在、滋賀医科大学をはじめ、多くの機関にアプローチしており、1億円に拡充した補助制度を活用し、要望内容に応じて市有地の活用等も検討します。

問 災害発生時の避難所でもある小学校体育館のエアコン設置を急ぐべき。また、トイレの洋式化の拡充も必要ではないか。

答 国の方針で、設置目標を令和13年度までに前倒しすることになり、補助率等の見直しも示されたことで、地震災害など

の状況の変化も踏まえ、早期のエアコン設置について前向きに検討すると同時に、トイレ洋式化の拡充も検討します。

問 まちづくり対策特別委員会で守山駅東口再整備について、建物の配置などのモデルパターンが示されたが、限られたエリアで窮屈なイメージである。別のレイアウトも検討してみてもどうか。

答 余裕スペースが少ないということも懸念の1つと考えています。民間事業者と懸念点も含めて、修正点や機能の実現性、経済合理性を考慮した中、別のレイアウトの可能性についても検討します。

問 本市では、様々な課題が山積しているが、課題解決に向けて、市長の次期への挑戦について、考えを伺う。

答 守山駅東口再整備事業をはじめ、公共交通網のあり方、担い手不足への対応など、方向性が未確定の課題も多いことから、これらの課題解決のため、引き続き市長の重責を担わせていただきたいと思います。



動物にも優しいまちをめざして



ネットワーク未来
榎本 花菜恵（ますもと かなえ）

問 動物をめぐる問題はさまざまな立場の人に配慮しつつ動物の命も大切にしながら考えていく必要がある。現在、猫と人間の共生のために「地域猫活動」や「保護猫活動」に取り組んでいる団体や個人がいる。市としても、こうした活動に対して正しい知識が得られ、市民の理解が深まるような取り組みを検討してはどうか。

答 滋賀県の補助金制度や犬猫の正しい飼い方講習の案内など、県と連携を図り、市民や活動団体への情報提供に努めます。今後、県の取り組みを市のホームページで紹介するなど、さまざまな機会をとらえて動物愛護や適正

飼育の情報提供について検討します。

問 市内道路で動物が死んでいるという通報を受けた件数、回収をした件数は何件か、そのうち猫の件数、割合はどうか。また、回収等にかかる費用について伺う。

答 昨年度実績としては、通報を受けた件数が454件、回収を行った件数は378件、死体の処理等に要した費用は約510万円です。猫の回収件数は全体の約22%に当たる83件です。

問 令和6年3月定例会で質問した、動物に関する問題を関係部局が定期的に協議し、情報共有や連携を行う場について、

現在の考えを伺う。

答 令和6年4月に市社会福祉協議会が事務局となり「守山市人と動物の福祉を考える会議」が設置されました。市としても引き続き会議に参加し、人と動物の双方が安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。



守政会
森 貴尉 (もり たかやす)

災害に強いまちづくりと安全安心な道路整備等について 本市の青少年健全育成事業等に係る市民交流施設のあり方について



問 緊急輸送道路の中でも大動脈である大津湖南幹線は、今だに播磨田町北交差点から4車線化が進んでおらず、混雑は東西南北とも激しい状況である。滋賀県による播磨田町北交差点から野洲市に伸びる市道播磨田川田線の工事進捗とその見通しについて伺う。

答 今年度は播磨田町北交差点から河西小学校付近までにおいて4車線化工事が進められる

計画であり、令和9年度末までの完了を目指し取り組まれています。

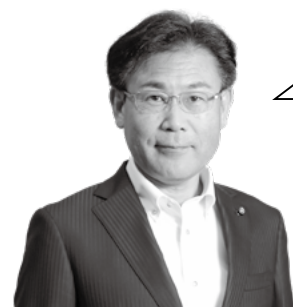
問 守山市橋梁長寿命化修繕計画に基づく100m以上の長大橋梁の服部大橋と天満大橋の点検業務と修繕の見通しについて伺う。

答 天満大橋は、現時点で道路の機能に支障はないが老朽化が進んでおり、今後の定期点検にて経過観察をします。服部大橋は本年度より修繕設計を進めており、修繕完了には複数年を要する見込みの為、計画的に修繕工事に着手します。

問 青少年の自主的な活動と「居場所・生きがい」づくりや子どもを育てる環境づくりの支

援として、司令塔的な拠点や青少年が主体的に活動できる場所が必要ではないか。また、伴走型支援の市民交流施設のあり方や民間等の活力との連携について見解を伺う。

答 他市事例を参考に、既存の団体に加え、多くの若者が気軽に集い、活動できる環境を調査し、「守山に住んでいて良かった」、「また守山に戻ってきたい」と実感できる仕組みを研究します。守山市民交流センターを拠点に、市民活動団体が安定的、継続的に活動できるよう、きめ細やかなサポートを行う伴走型の支援を行い、他団体や企業等との連携づくりに取り組みます。



公明党
田中 均 (たなか ひとし)

土地開発公社所有地は観光資源として活用すべきでは!



問 北部の湖岸観光開発用地が購入後約35年経過している。約25年間にわたる民間事業者への貸付により賃料収入を確保し、原価圧縮されてきたが、賃貸借契約が終了し2年が経過している。今後の取り組みについて、見解を伺う。

答 公募による一体貸付を予定しており、賃料は土地の評価額を基に借入金利等負担額を想

定した収支シミュレーションを実施します。公募が不調になった場合や賃料・事業内容が市が求める水準に達しない場合は、課題を整理した上で、公募条件を見直し、速やかに新たな活用方針を決定します。

問 湖岸エリア観光の拠点として活用できないか。

答 広域的なアクセスに優れた立地にあり、この土地の有効活用は重要な課題として認識しています。まずは賃料収入を確保し、土地開発公社の負担軽減と市民負担の軽減が重要と考えています。長期的な利活用の可能性、実現性を引き続き検討します。

問 守山を実証実験のフィールドとして、「官民連携プロジェクトサポート事業」が3年目になるが、今後の取り組みの方向性について見解を伺う。

答 単年度での実証実験には期間的な制約が大きいことから、2か年の実証実験が可能となる「長期枠」を令和7年度に新設しました。令和8年度は過去の採択事業から得られた知見や実績をもとに、事業選定は、より地域課題の解決に資するテーマを重視しました。今後、市内企業との連携も意識した官民連携の取り組みを一層推進します。



横江地域でのリチウムイオン電池工場 建設は住民不安の払拭を

誰もが安心して利用できる
介護保険制度を

問

特別養護老人ホームにすぐ
入居したい待機者は重複を
除き64人。待機者が発生し続け
ていることは問題ではないか。

答

ご本人が地域で生活を継続
できるよう支援し、介護を
担うご家族の負担軽減を図ること
が重要と認識しています。ケアマ
ネジャーや地域包括支援センター
と連携し、必要なサービス利用に
つながるよう努めます。

問

総合事業の全事業所が「事
業運営の採算性に不安」と
回答している。報酬水準の検証と
市独自の介護職員の処遇改善制度

の創設、在宅サービス事業所への
支援を求める。

答

総合事業の報酬単価は国の
介護報酬の改定時期にあわ
せ見直しを行っています。介護職
員の処遇改善など給与水準の直接
的な増加は、国の責任で調整され
るものと考えます。国が定める介
護報酬改定を踏まえ、総合事業の
報酬単価を検証する予定です。

問

横江工業団地に2か所目の
リチウムイオン蓄電池製造
工場の建設が進められている。危
険物を扱う企業は消防法の安全基
準を守ることは当然だが、火災リ
スクは近隣住民にとって深刻で切
実である。火災の危険性を回避す



日本共産党議員団
川本 佳子(かわもと よしこ)

るための各製造工程の具体的な安全
対策について伺う。

答

万が一にも火災を起こさな
いため、法令以上の安全対
策として、事業者から、製造・検
査工程に電池の温度・電圧を常時
監視する装置を設置し、異常を検
出した場合には自動で電池を水没
槽に投入して初期消火を行うシス
テムを採用することを確認してい
ます。



甲賀市産廃処分場建設は野洲川の水質が 汚染されかねない

問

野洲川最上流の産業廃棄物
処分場建設計画について、
野洲川の水質汚染は絶対にあつて
はならないと考えるが見解を伺う。

答

展開検査時に、受け入れで
きない廃棄物の混入が見落
とされる懸念があります。野洲川
に影響が出ないようにすべきであ
り、建設計画の動向を注視し、情
報収集に努めます。

問

未来を担う子どもの生きる
権利を保障するため、本市
でも子どもの権利条例を制定すべき。

答

新たな条例を制定するの
でなく、子どもの意見の尊重
と、最善の利益を第一に実効性あ
る施策を着実に進めます。

問

本市の不登校率は、全国と
同様10年間で約3倍。子
どもと保護者への支援と同時に、
新たに不登校を生まない、誰もが
安心して学べる学校づくりを。

答

自分の居場所が実感できる
学校風土づくりを進め、誰
一人取り残されない学びの保障に
努めます。

問

児童クラブは、幼稚園等の
空き教室利用ではなく、新
施設整備をすべき。プール跡地を
活用し、児童クラブ室整備を。

答

地域の実情や利用ニーズを
踏まえ、既存施設を有効に
活用してきました。整備にあた
り、園の活動に支障がないよう調整し



日本共産党議員団
小牧 一美(こまき かずみ)

ます。プール跡地活用は教育委員
会において検討しています。

問

保護者が育児休業を取得し
た場合、児童クラブの退所
を求めないよう改善すべき。

答

令和9年度から、育休取得
後も当該年度末まで継続利
用できる運用へ変更する予定です。

その他の質問

・ハラスメント事案の適切対応を



守政会

松永 恵美子 (まつなが えみこ)

誰ひとり取り残さない 個別避難計画の作成に向けて



問 個別避難計画の作成状況と作成が進まない原因について伺う。

答 個別避難計画の作成対象者約4,100名中80名の計画が作成されています。計画作成がまだ十分ではない原因は、計画に対する周知が十分でないこと、地域における作成や避難支援等実施者の負担感、個人情報提供に対する抵抗感があると捉えています。

問 本人や家族、支援者双方の心理的な不安を取り除くため、計画作成時にわかりやすく説明する仕組みを設けてはどうか。一人に背負わせない支援という観点からも複数の支援者によるチーム型支援を取り入れてはどうか。

答 要支援者の心理的不安や避難支援等実施者の不安を低減する説明をしています。また、チームとして支援にとりくむことも可能であり、研修会やマニュアル等で示すことにより、心理的なハードルの低減に努めます。

問 避難行動要支援者の心身の状態や家庭環境は変化していくことが多い。いざという時に

有効な個別避難計画を作成、維持するため、計画は一度作成して終わりにするのではなく、福祉専門職の既存のサービスに防災の視点を加えて個別避難計画を更新し、その業務に対して適切な報酬を支払う仕組みを検討してはどうか。

答 ハイリスク層の要支援者については、福祉事業所等に計画作成、更新を委託できる制度を設けています。対象者90名の内6名の計画を作成し、順次作業を進めています。今後の計画数の増加に伴い、更新手法について検討の必要があると認識しています。



無所属

川本 航平 (かわもと こうへい)

生成AI活用の先にある、これからの行政職員に求められる変化とは何か？



問 今が時代の転換点であることを前提に、行政はどのように変化していくべきか。これからの時代における、行政職員の役割とは何か、見解を伺う。

答 定型的・機械的な業務の効率化を図り、そこで生まれた時間を住民対応や政策の企画立案、さまざまな関係団体との関係構築など「人間でなければ担えない業務」に充てていく必要があります。

問 法律等に基づいて行う行政組織の業務は、幅広い市民を相手に正確に公平に行うことを重視する必要がある。そのため、「人間でなければ担えない業務」は構造的に苦手ではないか。

答 職員が現場に出向いて、市民の課題と一緒に考える市役所でありたいと考えます。また、AIの活用で、苦手な職員のフォローもできるようにしていきます。

問 生成AIの導入は、職員の変化を後押しする手立てとすべき。たとえば、市民懇談会の議事録作成や共有、各課の実情に合わせた生成AIの個別データベース作成などが考えられる。生成AI

を効果的に導入し、市役所全体に浸透させるために、どのような具体策を考えているか。

答 職員が職務の中でまずは負担感や抵抗感なく生成AIを使ってみる機会をつくり、その活用を市役所全体に広げることで推進につなげます。





熊本地震災害から得るべき教訓と の安全安心な防災対策を



日本共産党議員団
藤原 浩美 (ふじわら ひろみ)

問 災害が頻発する中、被災地の避難所では体育館の床に寝ているという訴えも聞く。本市の指定避難所となる小学校体育館にエアコンを早急に設置すべき。また、本市の段ボールベッドの備蓄は13台では不十分ではないか。

答 国から学校体育館のエアコン設置目標を令和13年度までに前倒しの方針が公表され、交付金の補助率等が見直されたので、小学校体育館へのエアコン設置を前向きに検討します。段ボールベッドの備蓄は、財源、保管スペース等の課題から、市内企業や県外他市との災害相互応援協定などを活用し、対応します。

問 特定健診やがん検診の受診率向上のため、集団健診の復活、健診の無料化の拡大をしてはどうか。また、小児生活習慣病予防健診や老人性難聴などの早期発見のため、65歳以上の特定健診や集団検診に聴力検査を導入してはどうか。

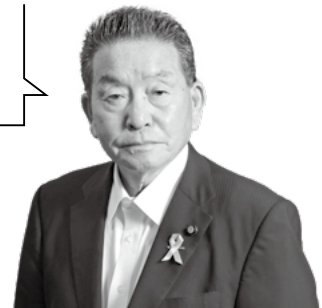
答 曜日や日時の指定なく受診できる体制が受診率の向上につながっており、集団健(検)診の再開は考えていません。小児生活習慣病健診は検査基準が明確でないことや事後指導の難しさから、また、聴力検診は健康診査の目的とは異なるためそれぞれ導入は予定していません。

問 安定ヨウ素剤配布マニュアルを市民へ周知すべき。また、学校だけでなく幼稚園保育園への配備、希望者には事前配布をすべき。

答 マニュアル策定後速やかに市ホームページで公表しています。本市は原子力災害対策重点区域の外側に位置するため、配布・服用は国・県の指示に基づき行います。



もりやまの人口動態と財政状況について



守政会
筈井 昌彦 (はずい まさひこ)

問 全国的には人口減少社会のなか「守山市長期ビジョン2035」では10年後に人口目標8万8千人を目指し、人口年齢バランス(20～64歳：56%)を維持するという人口推計をしているが、どのような政策、手法を用いて目指すのか。

答 社会増については都市計画マスタープランの改訂を進め、新たに居住することができる土地利用の施策を検討し、空き家等の有効活用を通じて、子育て世代を中心とした転入需要に対応した住環境の形成を進めます。自然増については「子育てするなら守山」の実現に向けた環境整備と、

誰もが健やかにいきいきと暮らしていく環境を整備し、健康寿命の延伸を図るとともに、社会・自然増減の両面から全力で取り組みます。

問 市制施行から56年、人口は3万5千人から8万6千人と約2.5倍に伸び、市の一般会計予算規模が20億円台から368億円と18倍に伸びている。今後は市民ホール大規模改修や小中学校のプール集約化などの事業を控えているため、財政見通しをしっかりと見極め、国の補助金等の財源確保はもとより財政改革プログラムなどを遵守し、計画的に取り組む必要があると考えるが、歳入確

保策について伺う。

答 第6次財政改革プログラムでは計画期間中の財源不足額は約38億円という厳しい財政収支を見込んでいます。現在、進めている企業誘致などによる新たな税源涵養に取り組むとともに、収納率の向上など、あらゆる方策を講じて自主財源の確保に努め、持続可能な財政基盤の構築に取り組めます。



無所属

上田 佐和(うえだ さわ)

相談する前から、親子がつながる場所を！



問 サロンや予約不要の「おやこひろば」、「親子ほっとステーション」などの親子の集いの場が、「相談するほどではない」段階の親子とつながる場所や、親子が継続的に顔の見える関係を作る場所、早期発見・早期支援の入口としての可能性を広げられないか。

答 子育てにおける悩みや不安は、保護者自身が相談の必要性を自覚している場合ばかりで

なく、何気ない会話を通じて把握できることもあり、日頃から顔の見える関係を築くことは、保護者の孤立を防ぎ、必要な場合に専門的な相談支援へ円滑につなぐ上でも有効であると考えています。今後も「相談窓口で待つ」だけではなく、身近な交流の場を活用しながら、子育て家庭と緩やかにつながり、必要な支援へ早期につなげる取組を進めます。

問 現在の「親子で集える場所」を、子育て支援拠点施設mamocco(まもっこ)や図書館等、市内の別の場所にも広げてはどうか、見解を伺う。

答 今年度からmamocco、ほえみセンター、速野幼稚園の3か所で、保健師と栄養士が出張し、遊びに来られた保護者向けに、予約不要で乳幼児の育児相談を行う「ふらっと相談会」を開始したところです。

今後もmamoccoをはじめ、ほえみセンター、図書館や地域の身近な施設と連携を図り、行政が身近な存在となり、必要な支援につながる機会の充実に努めます。



無所属

北野 裕也(きたの ひろや)

子どもの命を守る校務携帯を先生に！



問 児童生徒が倒れた時、教員がその場を離れず応援を呼び、119番通報できる体制が必要。滋賀県では119番の入電から救急隊の現場到着まで平均9.1分かかり、教員の個人携帯の持参は義務ではない。教員の個人携帯に依存すべきではないと考える。個人携帯無しでの連絡手順と所要時間を検証しているのか。教員の責任を問わないことと、子どもへの対応

が遅れないことは別問題である。校内電話を整備しないのであれば、1人1台校務携帯を貸与すべきであり、約500台の貸与で年間約500万円とした試算の内訳を示し、校内電話と校務携帯の総費用を同条件で比較すべきではないか。現在の体制が「子育てするなら守山」に繋がるのか、見解伺う。

答 必要に応じ個人携帯の持ち込みで対応できることから、校務携帯の貸与や校内電話の追加整備は必要ないと考えています。緊急時は1人ではなく、複数の教員で連携して対応するとともに、その場にある手段を活用して連絡対応します。約500万円は従来型

携帯電話の年間レンタル料であり、一部の通話や無料通信分を超えるデータ通信には別途費用が生じます。県内の他12市のうち9市で携帯電話の貸与を確認できましたが、整備状況や運用は異なっている状況です。個人携帯使用のガイドラインを周知するとともに、本市にとって最も有効な方法や校務携帯の必要性について、問題点・課題を整理し、調査研究していく必要があると考えます。

救急車を呼ぶまでの時間を、学校は検証したか

子どもの年間緊急搬送人員		119番入電から、救急隊の現場到着まで	
地域	10歳未満	うち7~17歳	滋賀県平均 9.1分 全国 9.8分
全国	514,788人	226,932人	
滋賀県	5,713人	2,684人	
滋賀県内	1,613人	720人	

※学校にAEDがある場合は、AEDの活用により、救急隊の到着までにかかる時間を短縮できる可能性がある。

※文科省：第一発見者を始め、誰でも即座に119番通報できる体制を。



9月定例会会議 審議結果一覧

全会一致で可決等された議案

決算 5件	認定第3号	令和7年度守山市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
	認定第4号	令和7年度守山市育英奨学事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	認定第7号	令和7年度守山市水道事業会計決算の認定について
	認定第8号	令和7年度守山市下水道事業会計決算の認定について
予算 3件	認定第9号	令和7年度守山市病院事業会計決算の認定について
	議第53号	令和8年度守山市一般会計補正予算(第3号)
	議第55号	令和8年度守山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
条例 3件	議第56号	令和8年度守山市介護保険特別会計補正予算(第1号)
	議第57号	守山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案
	議第58号	守山市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例案
人事 3件	議第60号	守山市営住宅の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
	議第61号	守山市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
	議第62号	守山市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
諮問 1件	議第63号	守山市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
意見書 2件	諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
	意見書第10号	国際刑事裁判所(ICC)の中立性を脅かす米国の制裁措置に毅然と対応することを求める意見書
	意見書第12号	県立総合病院等の現経営形態の維持を前提とした議論を求める意見書

賛否が分かれた議案

賛否が分かれた議案		議決結果	会派											無所属					
			①					②			③			④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
			新野 富美夫	菅井 昌彦	森 貴尉	松永 恵美子	高田 正司	渡邊 邦男	田中 尚仁	小牧 一美	藤原 浩美	川本 佳子	福井 寿美子	榎本 花菜恵	田中 均	藤木 猛	川本 航平	上田 佐和	二上 勝友
認定 第1号	令和7年度守山市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案 認定	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
認定 第2号	令和7年度守山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案 認定	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
認定 第5号	令和7年度守山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案 認定	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
認定 第6号	令和7年度守山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案 認定	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議第54号	令和8年度守山市一般会計補正予算(第4号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議第59号	守山市使用料および手数料条例の一部を改正する条例案	原案 可決	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
意見書 第11号	米国産生食用ジャガイモの輸入解禁に反対する意見書	否決	×	×	×	×	×	×	—	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×

①守政会 ②日本共産党議員団 ③ネットワーク未来 ④公明党 ⑤～⑨無所属議員 ○…賛成 ×…反対
議長は表決に加わらないため「—」と表示しています。

議会活動報告(7～10月)

7月7日(火)	文教福祉常任委員会視察(所管事務調査)	24日(木)	文教福祉常任委員会
8日(水)	市議会だより編集委員会	25日(金)	環境生活都市経済常任委員会
8月26日(水)	市議会だより編集委員会研修会	28日(月)	決算特別委員会
28日(金)	議会運営委員会	29日(火)	決算特別委員会
31日(月)	子育て支援対策特別委員会	10月2日(金)	議会運営委員会 本会議(第4日) 全員協議会
9月1日(火)	まちづくり対策特別委員会	7日(水)	市議会だより編集委員会
2日(水)	議会改革・広報広聴特別委員会	14日(水)	総務常任委員会(行政視察)
4日(金)	本会議(第1日) 市議会だより編集委員会	15日(木)	総務常任委員会(行政視察)
16日(水)	本会議(第2日)	22日(木)	環境生活都市経済常任委員会(行政視察)
17日(木)	本会議(第3日) 全員協議会	23日(金)	環境生活都市経済常任委員会(行政視察)
18日(金)	総務常任委員会 市議会だより編集委員会		

次回定例会会議等の開催予定

※開会時間は原則午前9時30分です。

11月18日(水)	議会運営委員会 ※非公開	10日(木)	本会議(第3日)
20日(金)	子育て支援対策特別委員会	11日(金)	総務常任委員会
24日(火)	まちづくり対策特別委員会	14日(月)	文教福祉常任委員会
25日(水)	議会改革・広報広聴特別委員会	15日(火)	環境生活都市経済常任委員会
27日(金)	本会議(第1日)	17日(木)	本会議(第4日)
12月9日(水)	本会議(第2日)		



まちのトピックス Topics

みんなで力を合わせて！

小津こども園で運動遊びの保育参観があり、子ども達の元気な声が戸外に響きました。色とりどりのパラバルーンを使った演技では、子ども達が力を合わせて布を大きく広げ、鮮やかな模様が広がりました。一人一人が一生懸命に取り組み、友達と息を合わせる姿からは、日頃から楽しんで遊ぶ姿や成長が感じられます。子ども達の笑顔と、みんなで心をひとつにして膨らませたバルーンが、秋の空を彩っていました。

市議会傍聴のご案内とインターネット中継

次回定例会月会議の予定は19頁に掲載しています。
(日程は変更になる場合があります)
お問い合わせは議会事務局へ。

TEL : 077-582-1151

守山市議会中継



守山市議会YouTube中継ページへ

インターネットアクセス数

2,773件

(令和8年7月1日～9月30日)

アプリで
見よう！

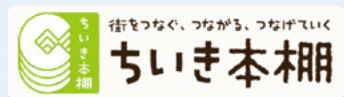
もりやま市議会だよりが**アプリ**で閲覧できます！

App Store

Google play



「マチイロ」アプリを
インストール



「Sidebooks」
アプリをインストールし、
「ちいき本棚」を選択

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。

※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市議会は責任を負いません。

編集後記

過ごしやすい季節になりました。今回は、令和7年度の決算審議も含めた9月定例会月会議の内容をお届けしています。9月は「認知症月間」でもあります。今般「新しい認知症観」が提示されましたが、全世代が共に支え合って生きる「共生社会」の実現のためにも、守山市の持つ独自のあたたかさや、人と人との繋がりを損なわない市政のあり方を議会としても模索し続けてまいりたいと思います。

市議会だより編集委員 上田 佐和